



学校だより

6月(2)号

自ら学び考えることができる生徒

感性豊かで思いやりのある生徒

心身ともに健康な生徒

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和2年6月19日

大田区立糞谷中学校

校長 小島 宏一郎

笑顔輝く 新学期

校長 小島宏一郎

学校が再開し3週間が過ぎました。長い休業期間明けで、生活のリズムが整わなかったり、学習にうまく取り組めなかったりして、生徒の皆さんが学校生活に上手に順応していけるか心配していましたが、それは杞憂(きゆう)であったようです。進級、入学にあたって各学年の生徒が書いた作文には、次に紹介するような前向きな内容の文章が、たくさんみられました。

「その(休校の)期間を取り戻すぐらいの気持ちで、授業や部活動にしっかり取り組み、どちらかにかたよらないようにしっかり両立させたいです。」(1年生)、「私はその(中学校生活でのたくさんの)出会いを大切に、これからの中学生活に生かしていきたいです。」(1年生)、「今の生活を当たり前と思うのではなく、感謝の気持ちを込めて生活していきたいです。」(2年生)、「私は、人のためにやれることが好きです。人のためになれたら、その相手の喜びや助けになり、それが私の喜びであるから、世話を焼きにしていきたいです。」(2年生)、「嫌なこと、辛いことにも立ち向かえる勇気が出るようにしたい。」(3年生)、「新しいことに挑戦したい。たくさんのことに関心を持ちたい。」(3年生)

また、新しいクラスの友だちとも少しずつ馴染んで、休み時間や下校時には、笑顔で会話する場面もたくさん見られるようになってきました。分散登校は今週で終わり、来週からはクラス全員と一緒に教室で勉強できるようになります。新学期の学級作りが始まります。2ヶ月半の遅れを取り戻すべく、相互に思いやりを大切にしたい学校生活を心掛けてくださることを願っています。

6月8日の入学式では、新入生を代表して1年A組のK君が堂々と「誓いの言葉」を述べてくれました。とても立派な姿でした。また、在校生を代表して生徒会長のH君が温かな歓迎の気持ちを込めて「歓迎の言葉」を書いてくれました。二人の言葉を紹介いたします。

誓いの言葉

新入生代表

やわらかく暖かな風と共に、本日、僕たち新入生は糞谷中学校の入学式を迎えることができました。令和という新しい時代に移り、初めて迎える若葉の季節は、新型コロナウイルスによって思いがけないものとなりました。しかし、この糞谷中学校での新しい出会いに、とまどいが希望に変わりました。

これから中学校生活を送るにあたり、ほくの四つの目標を話したいと思います。

①努力する。中学校で習う新しい勉強、上級生との交流のある部活動、みんなで力を合わせる体育祭などの行事の一つずつ手を抜かず、しっかり努力します。

②協力する。困っている友だちがいたら助ける。僕は小学校のとき野球をやっている、仲間に何度も助けられました。なので、何か困っている人がいたら、協力してあげたいです。相手の気持ちになり、優しさを持って人に接するようにしたいです。

③規則や約束を守る。僕はぎりぎりになって準備をしようとするところがあります。事前に準備をしたり、学校で決められた規則・時間・期限などの約束をきちんと守って糞谷中学校にふさわしい生徒になることを目指します。

④楽しむ。例え結果が出なくても、投げ出したりせずに思いっきり楽しむ。三年間という短い時間を充実したものにします。

僕たち新入生は、ときに悩み、立ち止まってしまう時もあると思います。そんな時には、自分たちで力を合わせて乗り越えていこうと思います。もし、それでも解決できないようであれば、先生方・保護者の皆様、どうか力をお貸しください。

最後になりましたが、校長先生はじめ、先生方・先輩方にはあたたかいご指導よろしくお願ひいたします。

歓迎の言葉

在校生代表

初夏の日を迎え、あじさいの花が露に濡れて美しく咲き誇っている季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大によりこのような形での入学式になってしまい、大変残念に思いますが、ご入学を心からお祝いする気持ちに変わりはありません。まだ少し大きめの標準服に身を包み、今日中学校へ登校した皆さんは期待と不安でいっぱいだと思います。

中学校生活は小学校の生活と異なる部分がいくつかあります。まず、学習面では、算数と呼ばれていたものが数学に変わり、算数よりも難しくなります。また、図工や家庭科と呼ばれていた教科がさらに専門的になり、実技教科と呼ばれる美術、音楽、技術・家庭、保健体育の4教科になります。この他にも、年に4回定期考査と呼ばれるテストも実施されるので、これまで以上に授業に積極的に取り組むことが大切です。

そして、皆さんが楽しみにしていることの一つに、中学校の部活動があるのではないのでしょうか。授業が終わると、顧問の先生の指導のもと生徒が中心となって活動します。小学校のときよりも自ら考え行動しなければならぬことも増えると思います。僕自身も、陸上部の一員として、記録を伸ばせるように頑張っています。部活動は中学校生活の大きな楽しみには違いありませんが、勉強との両立は簡単ではありません。最初のうちは環境の変化についていけず、困ることがあるかもしれません。そんなときは、先生や先輩方に遠慮なく聞いてください。そして、1日でも早くいろいろな人と仲良くなり、中学校という新しい環境に慣れてほしいと思います。

これからの中学校生活では新しいことに挑戦することも多くあると思います。その中には辛いこともあるかもしれませんが、様々なことに積極的にチャレンジしてほしいです。この3年間でたくさんのことを経験して学んでください。そして皆さんにとって何か夢中になれるものを見つけてください。充実した3年間になるように応援しています。

最後に皆さんのご入学を心よりお祝いし、歓迎の言葉といたします。

離任教職員のご挨拶

今年は、4月下旬に予定していた離任式を実施することができませんでした。生徒の皆さんとのお別れの機会を作ってあげることができず、残念な思いでいっぱいですが、ここに退職・異動した教職員からのメッセージを掲載し、離任式に代えさせていただきます。新たな生活でのますますのご活躍をお祈りしております。

関 教諭（美術科・9年在職）

私は今、いろいろなものを修理しています。動作不良のカメラやオーディオ機器では、合成樹脂のパーツは30年の歳月で劣化していました。でも、ガラスと金属だけで作られたカメラレンズや増幅回路は無事なものが多く、汚れたり故障したりしていても、清掃や修理が可能でした。金やダイヤモンドが高価なのは、時が経ってもその輝きを失わず、輝きという「価値」をもち続けるからです。同様に修理して蘇った機械達は、私にとってとても価値あるものと感じました。そこで気付いたのは、壊れた何かが修理可能だとしても、それだけでは価値の回復にはならず、修理する技術も必要だということです。幸福にも私はそれを持っていました。理科や数学で習ったことを利用して、若い頃にそうした知識を実際に試してみたことが大きかったのだと思います。皆さんも今のうちにしっかり学び、理科、数学に限らず、学んだことを何かに役立てる試みを、若いうちにやっておくことをお勧めします。

最後に皆さんの家族や親戚、知り合いの中で、学級や学年、部活などで、私と深く関わった方も居られるかも知れません。そうした皆さんに私が無事退職したことを、どうかよろしくお伝えください。それでも、心の中の安心や満足感はいろいろな人と同じ空間で何かを一緒に頑張ったとき、成し遂げたときに得られるものだと思います。だからみなさんも家族、友達、自分の周りにいるたくさんの人たちを大切にしてください。

大星 教諭（理科・3年在職）

糀谷中のみなさん、お元気でしょうか。新型コロナウイルスの影響で3月に学校が休校になってしまい突然の別れとなってしまったことが本当に無念でなりません。授業をみなさんと一緒に行くことこそありませんでしたが、糀谷中での時間を共に過ごすことができたことを本当に幸せに思っています。

糀谷中は「伝統を大切にす学校」だと思っています。先輩たちがつないできたものを受け継いで、そしてそれをさらに良くしていく。それをまた次の後輩につないでいく。私が在籍した3年間でこのことを強く感じました。みなさんも受け継がれてきた糀谷中の伝統を大切にしてください。

また、私は糀谷中で自分のクラス、学年の生徒に「自分以外で一番大切なものは『人』だ」ということを伝え続けてきました。人は一人では生きていけません。AI やテレワーク、オンライン授業などが少しずつ生活の中に現れ始めました。みなさんが社会にでるときには今よりもっと普及していると思います。人と会わずに仕事、勉強をする機会が増えたりもするでしょう。それでも、心の中の安心や満足感はいろいろな人と同じ空間で何かを一緒に頑張ったとき、成し遂げたときに得られるものだと思います。だからみなさんも家族、友達、自分の周りにいるたくさんの人たちを大切にしてください。

最後になりますが、先生方、保護者の皆様、本当にお世話になりました。皆様の支えがあったので幸せな3年間を送ることができました。新しい学校でも克己心をもって私もがんばります。

平林 主任教諭（国語科・1年在職）

1年間お世話になりました。

生徒の皆さんと一緒に国語を学習したり、さまざまな行事に取り組んだりした毎日は、かけがえなく愉快なものでした。中でも、今では2年生に進級した皆さんと一緒にいった車山移動教室では、ロングウォークやレクなどをとおして皆さんの成長や、努力する姿をたくさん発見できました。またやりたい行事のナンバー1です。

そんな成長ざかりの皆さんや、常に One team であり続ける先生方と出会えて、教員生活の最後を糀谷中で過ごせてよかったと心から思います。

また、学校の活動に惜しみない協力をしてくださる保護者の皆様、地域の皆様にも、感謝を申し上げます。ありがとうございました。

ごあいさつの終わりに、旧1年B組の皆さんの歌声を思い出しながら、あの自由曲の歌詞を贈ります。

「歩いていく道は きっと違うけれど

同じ空 見上げているから この地球のどこかで

糀谷中の皆さんのご活躍を、同じ空のもとで、遠くから応援しています。

黒上 事務補助員（6年在職）

私が糀谷中学校で勤務を初めたのは6年前でした。昇降口の大きな桜の木がまだ花を咲かせている時期でした。緊張感と共にごこか懐かしさの残る校舎に少しの安心感を覚えた記憶があります。

糀谷中学校の生徒さんとは直接お話する事は少なかったのですが、廊下ですれ違ったり、事務室に用事で来ていても皆さん明るく挨拶をする生徒さんが多かったという印象があります。学校行事や委員会などにも積極的に、楽しく一生懸命に取り組んでいる姿を見ることが出来ました。

また、夏の暑い日や冬の寒い日でも朝早くから夕暮れまでたくさん声を出し、部活動に励んでいる様子を事務室から応援していました。

そして、保護者の皆様や先生方にはたくさんお世話になりました。不慣れでご迷惑をお掛けした事もありましたがいつも気さくに話しかけて頂き「ありがとうございます」「助かりました」などの一言が仕事の励みになりました。

今、心と身体が不安定なまま新学期がスタートしていますが一日でも早く普通の生活に戻ることを願っております。

6年間ありがとうございました。

【保護者の皆様へ】「家庭のICT環境調査アンケート」へのご協力ありがとうございます。同じような調査を何度も繰り返し、保護者の皆様にはご面倒をおかけし申し訳ございません。大田区では、ICT環境の整っていないご家庭（中学校3年の）へ、タブレット端末の貸し出しなどを始めたところです。今後、数に限りはありますが、7月上旬頃より、モバイルルーターの貸し出しなどを行い、まずは、中学3年生がオンライン学習をできるように整備を進めています。今後の計画につきましては、教育委員会から情報が入りましたらお伝えいたします。